

地域経済安定のための緊急総合対策を求める決議

昨今の原油価格高騰や米国サブプライムローンを発端とした世界的な金融危機による円高などを原因とする物価高、原材料価格などの高騰は、地域の中小零細企業、商工業者や農林漁業者をはじめとし、市民生活へも深刻な影響を与えている。

先に出雲市議会に提出された農業団体、商工団体、漁業団体の要望書は、こうした窮状を訴えるものであり、まさに地域経済は疲弊し、危機的状況にあるといっても過言ではない。

国においては緊急経済対策のための補正予算を編成し、さらに追加的経済対策のための第2次補正予算も検討されているが、即効性ある施策は乏しく、またその効果も未知数であり、地域経済の現状をみると、本市としてできる限りの対策を速やかに行う必要がある。

特に資金需要が増大する年末に向け、地域経済を支える商工業、農林水産業を支援する対策を緊急にとっていくことが喫緊の課題と考える。

よって、市におかれては地域経済安定のため、下記事項について検討し、早急に実施されるよう強く要望する。

記

1. 制度融資にかかる信用保証料補助率の引き上げ、公共事業の早期前倒し発注を行うこと。
2. 農業、林業、水産業にかかる3F事業の拡充をはかること。
3. 原材料、肥料等の価格高騰に対する支援を行うこと。

平成20年(2008)11月18日

出雲市議会